

わたしたちが広島で感じたこと



＝永明中学校 2年＝
川崎 空さん

私たちが今回学んだ事は、ごく一部だという事を忘れてはいけない。平和な世界をつくるのは難しいかもしれない。でも私たちが次の世代に語りつぐ事が、誰もが幸せに暮らせる平和な世界に近づける一歩なのではないだろうか。

今回の広島の旅で私は、平和の大切さ、被爆者の想いを学ぶことが出来ました。実際に聞いてみないと分からない事、感じられない事が沢山あり、改めて戦争の恐ろしさを知り二度と同じような事が起こらないよう、より沢山の人の人へ伝え、世界が平和になることを祈り続けたいです。



＝永明中学校 2年＝
須藤 美波さん



＝北部中学校 2年＝
柳澤 茉央さん

広島平和の旅にて、一番思ったのは「百聞は一見に如かず」です。今までいくら人から聞いて情報を持っていたとしても、やはり自分で実際に体験することに勝るものはないと感じました。自ら行動することの大切さがわかりました。

私は、広島を訪れ、平和記念式典や証言のつどいに参加しました。被爆者の話や資料館の展示を通して、戦争の悲惨さと平和の尊さを感じることができました。他にも宮島観光や広島名物も楽しみ、忘れられない三日間になりました。



＝北部中学校 2年＝
細川 さくらさん



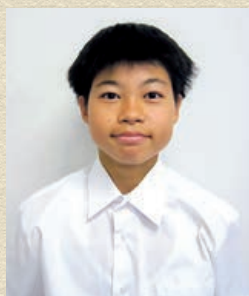
＝長峰中学校 2年＝
向井 舞依さん

今回の旅を通して、戦争の怖さなどを改めて実感しました。資料館を訪れたり、平和記念式典に参加して感じたことなどを周りの人に話すことが、広島に行った私たちの使命だと思いました。

願うだけでは、平和は訪れない。言葉に表す。ということが平和への近道だと思いました。同じ歴史を繰り返さないためにも、一人一人が平和の重要性そして命の尊さを考えてもらうきっかけを私はこれからつくりあげようと思います。



＝長峰中学校 2年＝
北原 陽菜さん



＝東部中学校 2年＝
橋場 信斗さん

80年前に原爆が落とされたとは思えない街並みに驚きました。被爆者の思いを受け継ぎ、原爆や戦争の恐ろしさ、平和について考えを広げ、この旅で経験したことを次の世代に伝えることが私のできることだと思います。

私は、証言のつどいなどで当時の悲惨な状況をより鮮明に想像することが出来ました。この貴重な経験を通して、絶対に繰り返してはいけないと強く感じました。そして、原爆投下の事実を無駄にしないようみんなに伝えようと思いました。



＝東部中学校 2年＝
小澤 颯太さん

広島平和の旅

茅野市では、非核平和事業の一環として、市内の4中学校の2年生を対象に非核平和への想いを作文にいただき、最優秀賞に選ばれた8名を8月に広島へ派遣しています。

広島市で行われる「広島平和記念式典」への参列、平和記念資料館等の見学や被爆された方から直接お話を聞くなど、平和の大切さや平和の尊さを学んでいます。

8名の中学生が広島平和の旅で感じたことや平和への想いをご紹介しますとともに、旅の様子もお伝えいたします。



平和記念式典

8月6日、平和記念式典に参列しました。厳粛な雰囲気の中で慰霊碑へ献花をし、原爆が投下された午前8時15分には、平和への祈りと被爆者への慰霊の念を込めて、黙とうを捧げました。



原爆被害者証言のつどい「8・6証言のつどい」

被爆者の方から、被爆当時の広島市内の様子や、友人や家族を亡くしつらい思いをしたこと、今も原爆の後遺症に苦しみながら生活されている方が大勢いることなどをお聞きました。



広島平和記念資料館



原爆の子の像

市内の中学生や市民の皆さんに折っていただいた千羽鶴を平和記念公園の「原爆の子の像」に捧げました。



灯籠流し

平和への願いを込めて灯籠を制作し、灯籠流しに参加しました。



原爆ドーム

